

**-平成 25 年度-**

# **新温泉町予算説明書**



**まちを知る  
考える 参画する**

**私たちの新温泉町**

## はじめに

春風が頬に心地よい季節となりました。住民の皆様には、日頃から町政の各般にわたり深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本町においては、昨年、山陰海岸ジオパーク国際学術会議が「湯村会議」として開催され、わが町のシンボルである温泉の力をはじめ豊かな地域資源を大いに活用しながら、国内はもとより東アジア等世界に情報発信し、多彩な交流を深め、大きな成果を収めた年でした。

一方、経済情勢に目を転じると、長引く景気低迷に加えて、電気料金の値上げや原油価格の高騰など、町民及び事業者をとりまく環境は依然として厳しい状況にあります。また、わが町の歳入全体に占める自主財源の割合は約23.77%と低く、地方交付税をはじめとする依存財源に大きく左右されるなど、これまで以上に財源確保が厳しくなるものと認識しています。

このような中で、平成25年度予算編成にあたっては、依然として厳しい財政環境の中で、地域や住民にできる限り心を寄せた生活の安心対策と主要産業の再生を重点施策とし、財源を重点的・効果的に配分する施策精選型の予算編成を行いました。

限りある人員と予算の中で、町民の期待に応える行政サービスを提供していくため、「共生・協働」を基本姿勢に①ふくらむ夢づくり、②暮らしの安心づくり、③あふれる元気づくりの3つを基軸とした「魅力ある心のふるさと 新温泉づくり」を推進してまいります。

この予算説明書は、町の行っている事業の内容を分かりやすく、皆様にお伝えできるように心がけて作成しています。

本書が行政と町民の皆様をつなぐ一つの媒体になるとともに、町の課題等を発見し、議論するための一助としてご活用いただけることを願っています。

平成25年 4月  
新温泉町長 岡本英樹

## ----- 目次 -----

### 1 人と人との豊かな関係づくり《自立と協働》

・・・・3

- ①住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり
- ②健全な行財政を運営するまちづくり
- ③連携・交流を促進するまちづくり

### 2 安心な暮らしづくり《安心》 ・・・ 5

- ①災害に強いまちづくり
- ②安心に暮らせるまちづくり
- ③健康に生きるまちづくり
- ④安心して子育てができ、高齢者や障がい者等が暮らせるまちづくり

### 3 こころ豊かな人づくり《誇り・生きがい》 ・・・ 10

- ①人権が尊重されるまちづくり
- ②次世代の担い手を育成するまちづくり
- ③生きがい・楽しみ・誇りづくり

### 4 豊かな地域産業づくり《活力》 ・・・ 14

- ①産業間の連携と人材を育成するまちづくり
- ②自然活用型産業を振興するまちづくり

③交流型産業を振興するまちづくり

④商工業を活性化するまちづくり

### 5 住みたくなる環境づくり《快適・生活環境》 ・・・ 18

- ①自然を守り育てるまちづくり
- ②快適な生活ができるまちづくり
- ③地球環境に優しいまちづくり

#### ※資料

**行財政改革への取組** ・・・ 21

**まちの台所事情** ・・・ 22

- ●
- ● ● <平成25年度予算説明書の見方> ● ●
- ● ◆この予算説明書は、新温泉町総合計画に沿つ ● ●
- ● て概要説明しています。 ● ●
- ● ◆新規事業については「※新規事業」と表示し ● ●
- ● ています。 ● ●
- ● ◆予算額の（ ）内の金額は平成24年度の ● ●
- ● 当初予算額です。 ● ●
- ●

# 1 予算規模

## (1) 一般会計

平成25年度は、地域や町民にできる限り心を寄せた「生活の安心対策」と山陰海岸ジオパークの推進をはじめ「地域産業の活性化」を重点施策とし、財源を重点的・効果的に配分する「明日の“安心・元気”づくり予算」としました。

将来に向けて夢と希望を持って暮らせる協働のまちづくりを推進します。

特に、①産業振興・雇用の創出、②若者定住、③山陰海岸ジオパークを活用した交流人口拡大に向けた「元気づくりプロジェクト」を継続して推進します。

健全な財政基盤の確立を考慮しながら、一般行政経費の徹底した経費削減を行い、課題施策の実現に向けて、所要の経費を予算化しました。

## (2) 特別会計

独立採算制の原則を念頭に、収支改善を目指し、事業運営の一層の効率化に努めました。

## (3) 公営企業会計

既存施設の更新改良経費の增高に配慮し、施設の維持管理方法の見直しと、簡易水道事業特別会計を水道事業会計へ統合し管理運営の効率性を高めます。

# 平成25年度予算

会計名	当初予算
一般会計	97億4,500万円
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)
	19億3,893万4千円
	国民健康保険事業(照来施設勘定)
	4,200万2千円
	国民健康保険事業(八田施設勘定)
	3,451万円
	国民健康保険事業(歯科施設勘定)
	6,152万円
	後期高齢者医療
	2億574万5千円
公営企業会計	介護保険事業
	16億5,435万8千円
	浜坂地区残土処分場事業
	6,350万6千円
	温泉地区残土処分場事業
	2,666万9千円
	コミュニティ・プラント事業
	9,951万7千円
	七釜温泉配湯事業
	1,014万9千円
	下水道事業
	8億9,044万6千円
	浜坂温泉配湯事業
	6,230万4千円
	水道事業
	6億1,493万8千円
	公立浜坂病院事業
	15億4,899万円

# 2 一般会計

## (1) 歳入概要

### ①町税

平成25年度の税制改正、課税動向及び徴収努力等を勘案し、14億276万円を見込みました。

### ②地方交付税

普通交付税は、平成25年度普通交付税算定上の地方公務員給与費臨時特例による交付額の減額を見込みました。一方で、地域の元気づくり推進費・予防接種等に関する基準財政需要額の増、町税収入の減少に伴う基準財政収入額の減等により、300万円の微増、総額43億4,400万円を見込みました。

これらの結果、普通交付税、特別交付税をあわせた地方交付税の総額を48億1,900万円（対前年度比300万円増）を見込んでいます。

### ③町債

町債の残高及び後年度償還負担に留意しながら過疎債及び合併特例債など後年度交付税算入のある町に負担の少ない有利な起債の発行に配慮しました。

## (2) 歳出概要

### ①人件費

定員適正化計画に基づく職員数削減を目標とし、退職者の補充抑制により総額の削減を図りました。

### ②一般行政経費

平成28年度からの普通交付税の段階的縮減に対応するため一般行政経費の削減に努めました。

### ③投資的経費

前年度中は政権交代により日本経済再生に向けた緊急経済対策・公共事業を中心とした投資的事業を予算化しました。その大半を平成25年度へ繰越し、平成25年度の当初予算は、前年度の補正予算と一体的なものとして「15か月予算」として投資的事業に配慮し、予算編成しました。

特に前年度から継続事業の町道二日市古市線改良事業（道整備交付金事業）、共同汚水処理施設整備事業を予算化しました。

また、新たな行政施策として、温泉を利用したバイナリー発電設備整備に本格着手します。

住民の安心・安全、防災・減災対策事業を中心に優先順位の高いもの、投資効果の高いものから事業実施します。

# 人と人との豊かな関係づくり

## ・自立と協働・

「まちづくりは人づくり」の基本理念のもとに、住民が能動的にまちづくりに参加・参画する意識づくりに取り組み、行政のみならず住民や事業者も自らの役割を十分に理解し、相互の協力により、人が輝くまちづくりを進めます。

### 1 住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり

#### (1) 新温泉町女性団体育成事業（新温泉町婦人会補助金）

町内の各種女性団体相互の連絡調整や各地域婦人会員相互の親睦を深め、社会に貢献するとともに女性の自立と教養・福祉の向上を図ります。

○予算額 34万5千円（34万4千円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課



### 2 健全な行財政を運営するまちづくり

#### (1) 行財政改革の推進

分権型社会に対応し、将来にわたり強固な財政基盤と住民満足度の高い行政体制を確立するため、第2次行財政改革大綱・実施計画(H22～H26)に沿った取り組みを全庁あげて推進します。

○予算額 13万7千円（13万7千円）

○担当課 総務課

#### (2) 広域行政事業

但馬地域が共有する地域課題の解決に向け、近隣市町等との連携による幅広い広域行政を進め、効率的な事務執行を推進します。

○予算額 947万5千円（871万7千円）

○担当課 企画課

#### (3) 住民基本台帳本人通知に伴うシステム改修事業 ※新規事業

住民票の写し等を第三者に交付した場合において、不正請求や不正取得による個人の権利侵害を防止するため、登録者に事実を通知する制度を創設するため、通知に伴うシステムの改修を行います。

○予算額 84万円（-）

○担当課 総務課、町民課

### 3 連携・交流を促進するまちづくり

#### (1) 婚活推進事業

過疎化・少子化対策の一環として、社会全体で結婚を応援するため、独身男女の「出会い・交流事業」を開催し、少子高齢化の要因となる晩婚化・未婚化対策として婚活事業を実施します。

○予算額 87万9千円（16万9千円）

○担当課 企画課

#### (2) 第20回但馬“牛まつり”事業

但馬ふるさとづくり協会の補助を受け、9月22日に開催します。

○予算額 100万円（100万円）

○担当課 温泉総合支所 地域振興課



但馬“牛まつり”

### (3) 第14回全日本かくれんぼ大会

全日本かくれんぼ協会に委託し、6月16日に開催します。

○予算額 80万円（80万円）

○担当課 温泉総合支所 地域振興課



全日本かくれんぼ大会

### (4) 都市と農山漁村の交流拡大推進事業

新温泉町いなか体験協議会を主体とし、小中学生の自然学校受入れに係る体制強化と誘致活動に取り組みます。また、ふくしまの子どもたちの学びと育ちを支援するための「ふくしまキッズプログラム」の受入れや都市と農山漁村の交流拡大を図るために、26年度に開催される全国どぶろく研究大会の誘致を進めます。

○予算額 231万4千円（128万3千円）

○担当課 商工観光課

### (5) 国際交流事業

新温泉町国際交流協会を中心に、南太平洋大学及び香港大学等学生の受入れを公式プログラムとして行なうとともに、中学生の国際理解教育を促進するために姉妹校交流の支援を行い、町民の国際意識の醸成を図ります。

○予算額 624万6千円（557万2千円）

○担当課 商工観光課、教育委員会 こども教育課

### (6) 地域振興事業

地域コミュニティの充実を図るために、区及び町内会が実施する地域活動及び拠点施設等の整備を支援します。

○予算額 127万3千円（208万7千円）

○担当課 企画課

### (7) まち歩き案内所運営事業

まちづくりグループなど住民活動の拠点施設としての活用に加え、観光振興の中核である観光協会を主体とした施設運営を行い、住民参加による交流人口の拡大を図ります。

○予算額 626万9千円（77万9千円）

○担当課 商工観光課



まち歩き案内所「松籟庵」

### (8) 山陰海岸ジオパーク構想推進事業

世界ジオパークに加盟した山陰海岸ジオパークを活用し、住民が町に自信と誇りを持てるまちづくり活動と観光振興、環境保全、教育活動、地場産業の振興を図ります。山陰海岸ジオパーク推進協議会やエリア内の各府県市町と連携して各種事業を実施するほか、山陰海岸ジオパーク館の展示資料収集や学習事業、モデルコース案内看板、遊歩道の整備などを実施し、魅力ある施設・ジオスポットづくりを行うとともに、町ジオネットワークを通じて認定ガイド養成講座やモニターツアーを実施し、誘客に努めます。また、遊覧船の後継者育成に努めます。

○予算額 2,535万8千円（2,030万2千円）

○担当課 商工観光課



山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」

# 安心な暮らしづくり

## ・ 安心 ・

防災体制の強化、消防救急体制の充実、施設・資機材の整備、情報ネットワークの拡充及び各種訓練活動の促進に努めます。

また、生活の安全を確保するため、交通安全対策や防犯対策を進めます。

さらに、健康診断や健康教室、介護予防事業の推進など保健、福祉、医療が連携した効果的な健康づくり対策を進めるとともに、海と山と温泉に恵まれた自然環境、スポーツ施設を幅広く活用するなど住民総参加の取り組みの充実に努めます。

### 1 災害に強いまちづくり

#### (1) 急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護するため、公共・県単の事業を積極的に推進します。

- 対象 新規2地区、継続2地区
- 予算額 1,060万円（1,230万円）
- 担当課 建設課

#### (2) 浸水対策事業 ※新規事業

公共下水道処理区内の雨水排水を円滑に行うため、排水路の機能改善を図ります。

- 予算額 530万3千円（-）
- 担当課 上下水道課

#### (3) 耐震診断・耐震改修促進事業 ※新規事業

建築物の地震に対する安全性の向上を図るため、町内に存する住宅の所有者が実施する耐震診断の補助に加え、新たに耐震改修工事の経費を補助します。

- 内容 • 簡易耐震診断 10戸
- 耐震改修補助 3戸
- 予算額 90万円（-）
- 担当課 建設課

#### (4) 美方広域消防本部負担金

美方郡広域事務組合に拠出し、火事や緊急時等における常備消防組織を維持することで、住民の安心・安全を図ります。25年度は通信指令設備

を更新します。

- 予算額 3億6,037万7千円（3億2,154万7千円）
- 担当課 町民課

#### (5) 防災等緊急情報提供の機能強化事業

##### ※新規事業

非常時における住民への連絡体制を強化するため、CATVにJアラートを接続して瞬時告知体制を整備します。

- 予算額 2,100万円（-）
- 担当課 町民課

#### (6) 消防車両等の更新

温泉支團の消防ポンプ車1台と可搬式ポンプ2台を更新し、地域防災力の向上を図ります。

- 予算額 2,836万5千円（2,736万2千円）
- 担当課 町民課

#### (7) 防火水槽等水利整備事業

防火水槽の設置と消火栓の移設・本体取替を行い、地域防災力の向上を図ります。

- 内容 • 防火水槽 1基（温泉地域）
- 消火栓 4基（浜坂地域）
- 2基（温泉地域）
- 予算額 4,672万8千円（303万円）
- 担当課 町民課、温泉総合支所 地域振興課

#### (8) ひょうご防災ネットの運営

地震、水害等の発生時に携帯電話のメール機能やホームページを活用して直接に災害情報や避難

情報などの緊急情報を発信するシステムをエリアメールと連動させ、運営します。

○予算額 88万2千円（88万2千円）  
○担当課 町民課

#### （9）自主防災組織活動交付金

災害発生時における応急活動を円滑に行うため、自主防災組織等が実施する防災・消防訓練に対し、活動交付金を交付します。

○内 容 1地区あたり1万円と訓練参加1世帯につき100円  
○予算額 70万7千円（70万7千円）  
○担当課 町民課

#### （10）全町一斉防災訓練の実施

町民の防災意識を高めるため、全町一斉の総合防災訓練を実施します。また、訓練の効果を高めるために自主防災連絡会の再構築を行うとともに、防災講演会を実施します。

○実施日 平成25年11月10日（日）  
○予算額 19万9千円（14万5千円）  
○担当課 町民課



全町一斉防災訓練

## 2 安心に暮らせるまちづくり

#### （1）ドクターカー運行費負担金

但馬3市2町で連携し、運営するドクターカー運行経費を負担します。

○内 容 ・運行形態：ドクターへリと併用運行  
・運行時間：午前6時～午後11時  
○予算額 203万9千円（303万6千円）  
○担当課 健康福祉課

#### （2）小児救急医療電話相談窓口設置事業負担金

県下の電話相談窓口は#8000番で設置されていますが、相談件数が多くつながりにくい状況にあるため、但馬3市2町で連携し、但馬圏域に相談窓口を設置します。

○内 容 ・電話窓口 0796-22-9988  
・相談時間 午後7時～午後10時  
○予算額 6万4千円（12万9千円）  
○担当課 健康福祉課

#### （3）但馬こうのとり周産期医療センター負担金

##### ※新規事業

但馬3市2町で連携し、公立豊岡病院に設置する但馬こうのとり周産期医療センターの建設、医師確保対策、魅力アップ事業の経費を負担します。

○予算額 79万3千円（-）  
○担当課 健康福祉課

#### （4）消費者行政の推進

悪質商法や多重債務等、消費者問題への対応を強化し消費者行政の推進を図るため、国の事業を活用して専門相談員を設置するなど、相談窓口の充実を図ります。

○予算額 327万8千円（340万2千円）  
○担当課 温泉総合支所 地域振興課

#### （5）除雪車両の購入 ※新規事業

冬期間の住民の交通を確保するため、除雪車を購入し、機械力の強化を図ります。

○内 容 ホイルローダー 2台  
○予算額 1,802万7千円（-）  
○担当課 建設課

#### （6）橋梁長寿命化修繕計画策定事業

町が管理する道路橋を安心・安全に利用していくため、橋梁長寿命化（維持管理）計画を策定し、計画的に修繕していく予防保全型維持管理に取り組みます。

○予算額 700万円（2,535万円）  
○担当課 建設課

## (7) 町道新設改良事業

住民の生活基盤である町道の整備拡充を図ります。

○内 容 工事 町道用土 13 号線ほか 7 路線

○予算額 2,910 万円 (2,560 万円)

○担当課 建設課

## (8) 道整備交付金事業

幹線道路を改良整備し、安全性、利便性の向上を図ります。

○内 容 工事 町道二日市古市線

○予算額 3 億円 (3 億 8,812 万 7 千円)

○担当課 建設課

# 3 健康に生きるまちづくり

## (1) 母子保健事業

健診や相談・訪問事業を通じて、子どもの健やかな発育発達を促すため、認定こども園等、学校や専門機関と連携を図りながら育児支援に努めます。また、う歯有病率、小学生肥満率が高いことを受け、乳幼児期から、基本的生活習慣の確立を目的とした食育・口歯の健康づくりの充実を図ります。

○予算額 388 万 8 千円 (389 万 6 千円)

○担当課 健康福祉課(保健センター「すこやか～に」)

## (2) 妊婦健康診査費助成事業

健康で元気な赤ちゃんを出産するために、妊婦に対し、妊婦健康診査費（歯科健康診査費追加）を助成します。母子保健法で定められた妊婦健康診査の受診ができるよう経済的な支援等の体制整備を行います。

○助成額 上限 8 万円

○予算額 700 万円 (750 万円)

○担当課 健康福祉課(保健センター「すこやか～に」)



## (3) 子宮頸がん等ワクチン接種事業

ワクチンの予防接種費用の全額を助成し、経済的負担を軽減するとともに、疾病の発生を予防し、市民の健康増進を図ります。

○対 象 ・子宮頸がん 中学 1 年～ 2 年生

・ヒブ 2 ヶ月齢～ 5 歳未満

・小児用肺炎球菌 2 ヶ月齢～ 5 歳未満

○予算額 1,185 万 5 千円 (1,250 万 5 千円)

○担当課 健康福祉課(保健センター「すこやか～に」)

## (4) 健康増進事業

①地域・職域等と連携し、特定健診や各種がん検診等の受診率向上を図ることで市民の健康増進に努めます。

②食の大切さを理解し、健康増進を図るため、食生活改善推進員養成講座を引き続き開設します。

③がん検診推進事業（乳がん、子宮がん、大腸がん）を継続し、節目年齢を中心に勧奨を行い、受診率の向上を図ります。

④自殺対策事業を継続し、早期相談・受診しやすい職域・地域づくりのための啓発を行います。

○予算額 2,418 万 1 千円 (2,403 万 5 千円)

○担当課 健康福祉課(保健センター「すこやか～に」)

## (5) 特定健診事業（国民健康保険関連事業）

20 年度から義務付けとなった特定健診について、25 年度も 40 歳から 74 歳までの方を対象に実施します。24 年度の結果を踏まえ住民への周知とその必要性の啓発に努め、若い世代からの健康に対する意識付けと生活習慣病予防を推進します。また、国保対象者の無料受診を引き続き実施し、受診率向上を図ります。

○予算額 750 万円 (771 万 3 千円)

○担当課 健康福祉課(保健センター「すこやか～に」)

# 4 安心して子育てができる、高齢者や障がい者等が暮らせるまちづくり

## (1) 障がい児日中一時支援事業

小学校の長期休業期間において、障がい児を持つ家族の就労を支援するとともに、介護の一時的な負

担軽減を図ります。

○予算額 79万2千円（100万8千円）

○担当課 健康福祉課

#### （2）障がい者支援・自立支援給付事業

障害者総合支援法による、在宅サービス、施設利用サービスの給付費、更正医療費等の給付支援を行います。

○予算額 2億8,376万円（2億5,242万円）

○担当課 健康福祉課

#### （3）障がい者支援・地域生活支援事業（地域活動支援センター）

障がい者等を通所させ、創作活動及び生産活動の機会を提供し、障がい者等の地域生活支援の促進を図るため、①地域活動支援センターいづみ、②地域活動支援センターいわつばめ、③地域活動支援センターのぎく作業所等に運営補助し生産活動、訓練作業の支援を行います。

○予算額 2,332万6千円（2,282万6千円）

○担当課 健康福祉課

#### （4）外出支援サービス事業

身体の不自由な高齢者等で移送手段を確保することが困難な方を対象に、医療機関、社会福祉施設への移送サービスを提供します。25年度からは、低所得者のみの利用となります。移送範囲については、民間事業者を活用して、その範囲を広げます。

○予算額 177万9千円（160万8千円）

○担当課 健康福祉課

#### （5）高齢者福祉タクシー助成事業

高齢者世帯（75歳以上）がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成します。

○内 容 • 助成 1枚500円の助成券

• 上限 1世帯に年間24枚まで

○予算額 366万3千円（367万9千円）

○担当課 健康福祉課

#### （6）長寿祝福・敬老祝福事業

地域で敬老思想を高め、地域コミュニティを図る

ため、敬老会事業に助成します。

○内 容 • 最高齢者祝福、百寿、米寿、金婚夫婦のお祝い

• 地域敬老会開催事業補助

○予算額 346万9千円（349万7千円）

○担当課 健康福祉課



#### （7）生きがい活動支援通所事業

高齢者の生きがい、孤立解消の事業（健康指導・相談、趣味の講座等）を実施し、介護予防や高齢者の健康保持に努めます。

○予算額 828万6千円（797万6千円）

○担当課 健康福祉課

#### （8）福祉医療費助成事業

県福祉医療費助成事業に加え、町単独助成を継続して実施することで、対象者が安心して医療を受けられるよう福祉の充実を図ります。（老人医療費、重度障がい者医療費、母子家庭等医療費、高齢重度障がい者医療費、寡婦医療費等の助成を実施）

○予算額 7,281万7千円（6,897万7千円）

○担当課 健康福祉課

#### （9）乳幼児等医療費助成事業

少子化対策として、引き続き小学校3年生までの乳幼児等が、安心して医療が受けられるよう町単独助成を継続実施し、福祉の充実を図ります。

○予算額 3,234万1千円（3,138万円）

○担当課 健康福祉課

#### （10）こども医療費助成事業

小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象に、子育て世代が安心して子育てできるよう、精神的・経済的負担が大きい医療費を助成し、福祉の充実を図ります。

○内 容 • 入院医療費 小学校4年生～中学校3年生

- ・通院医療費 小学校4年生～6年生
- 予算額 920万9千円（42万4千円）
- 担当課 健康福祉課

#### (11) 未熟児養育医療費支給事業 ※新規事業

母子保健法に基づき、入院養育を必要とする未熟児に対し、医療費を支給します。

- 予算額 68万4千円（－）
- 担当課 健康福祉課

#### (12) 放課後児童健全育成事業（浜坂・温泉地域）

##### 児童クラブ運営

保護者が就労等により昼間家にいない小学校の児童に対し、放課後に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。また、障がい児についても、受け入れを行います。

※温泉地域は25年度から受入開始

- 予算額 1,038万1千円（549万7千円）
- 担当課 教育委員会 こども教育課

#### (13) 多子世帯保育料軽減事業

多子世帯に対し、第3子以降が利用する場合の保育料を助成します。保育所・幼稚園に入所している満18歳未満の多子世帯の児童のうち、3人目以降に該当する児童であって、当該保育料が5,000円を超える児童に対し保育料を助成します。

- 内 容
  - ・所得制限あり
  - ・3歳児未満 上限5,500円
  - ・3歳児以上 上限4,000円
- 予算額 178万8千円（134万1千円）
- 担当課 教育委員会 こども教育課

#### (14) 浜坂子育て支援センター運営事業

旧浜坂幼稚園園舎を活用し、開設して5年目を迎える子育て支援センターのより充実した体制整備を行い、事業内容の充実を図ることで、利用者が相談しやすい体制を整えます。

- 予算額 630万円（656万1千円）
- 担当課 教育委員会 こども教育課

#### (15) 児童手当支給事業

家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童のすこやかな育ちを支援するため、児童手当を支給します。

- 対 象 中学校終了までの児童
- 内 容
  - ・3歳児未満 1人 15,000円／月
  - ・3歳児以上 1人 10,000円／月
  - ・第3子以降 1人 15,000円／月
  - ・中学生 1人 10,000円／月
  - ・所得制限を超える児童  
1人 5,000円／月

- 予算額 2億1,190万2千円（2億3,593万6千円）

- 担当課 健康福祉課

#### (16) 認定こども園、ふれあいセンター運営事業

浜坂・大庭・明星認定こども園は、開設5年目、ふれあいセンターは9年目となり、各園とも、より充実した保育・教育の提供を図ります。職員研修を充実させ、職員資質の向上を図ります。

- 予算額 1億8,745万4千円（1億8,438万5千円）
- 担当課 教育委員会 こども教育課

#### (17) 特定不妊治療費助成事業 ※新規事業

高額の治療費を要する特定不妊治療を受けられる夫婦に対して、治療費の一部を助成します。

- 助成額 上限10万円（1年度あたり）
- 予算額 100万円（－）
- 担当課 健康福祉課

#### (18) 5歳児発達相談事業 ※新規事業

子育てに困難感を持つ5歳児の保護者が、子どもの特性や課題を理解し、子育てができるよう支援するため、専門医等による発達相談事業を行います。

- 予算額 20万円（－）
- 担当課 健康福祉課

#### (19) 身体障がい児療育訓練事業

理学療法士による身体障がい児の個別訓練を実施し、自立に向けた支援、家族への支援を行います。

- 予算額 57万6千円（57万6千円）
- 担当課 健康福祉課

# こころ豊かな人づくり

## ・誇り・生きがい・

生涯学習を可能にする確かな学力の定着を図るとともに、個性、能力を伸ばす教育と相手を思いやる「豊かな心」を育み、たくましい体づくりを目指した教育を進めます。

また、世界的な自然遺産の保全、継承などにより、自然保護、地域内連携による郷土学習の推進を図り、ふるさとを愛する青少年を育成します。さらに、本町には恵まれた自然環境の中に各種の体験、地域資源発信施設が配置されており、これらの活用を通して、芸術やスポーツ、学習について、世代間、地域間交流を深め、豊かな人間形成を進めます。

### 1 人権が尊重されるまちづくり

#### (1) 人権啓発推進事業

人権啓発条例及び人権啓発方針に基づき、人権意識の高揚とお互いの人権が尊重され誇りが持てるまちづくりを目指し、「差別をなくし人権文化を進める町民運動」として、各種団体・企業、各地域における人権学習会、街頭啓発、人権講演会などを実施し、人権啓発を推進します。また、人権施策推進計画、第2次男女共同参画社会プランに沿った施策を総合的かつ計画的に推進します。

○予算額 251万8千円（254万9千円）

○担当課 人権推進室（文化会館）

#### (2) 隣保館活動事業

基本的人権尊重の精神に基づき、福祉の向上や人権啓発・住民交流の拠点となる開かれた「人権センター」として、人権学習、交流スポーツ大会、教養文化教室、交流文化祭、各種人権相談など、学習・啓発・交流事業を実施し、あらゆる差別の解消と地域社会に密着した社会福祉施設として人権教育及び人権啓発を推進します。

○予算額 424万円（411万8千円）

○担当課 人権推進室（文化会館）

#### (3) 人権学習事業

人権教育にかかる課題解決と人権が真に尊重される社会の実現をめざし、地域の教育活動や人権に関わる文化創造活動を進めます。

○内 容 ・人権学習事業（ささゆり・ひまわり）

- ・新温泉町人権教育推進協議会交付金
- ・新温泉町人権セミナーの開催
- ・人権啓発冊子「ひらり第8号」印刷事業

○予算額 461万7千円（428万3千円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課



人権パレード

### 2 次世代の担い手を育成するまちづくり

#### (1) 環境体験事業・自然学校推進事業

##### ①環境体験事業

小学校3年生を対象に自然体験活動を通して自然の大切さ、命の大切さ、命のつながり、美しさに感動する豊かな心を醸成します。

##### ②自然学校推進事業

小学校5年生を対象に学びの場を教室から豊かな自然の中へと移し、児童が人や自然とのふれ合い、地域社会への理解を深めるとともに、心身ともに調和のとれた健全な児童の育成を図ります。

○予算額 298万2千円（321万6千円）

○担当課 教育委員会 こども教育課

#### (2) 小学生山陰海岸ジオパーク学習事業

世界ジオパークに認定されている山陰海岸のすばらしさについて、遊覧船を活用して海から現地を見る学習を行います。

○予算額 14万円（14万2千円）

○担当課 教育委員会 こども教育課

#### (3) スクールアシスタント配置事業

A D H D等により行動面で著しく不安定な児童や、その児童が複数在籍する学校への支援として、町単独でスクールアシスタントを各小中学校に配置し、一人一人の実態に即した効果的な指導を行い、課題解決を図ります。

○予算額 1,594万9千円（1,200万4千円）

○担当課 教育委員会 こども教育課

#### (4) トライやる・ウィーク推進事業

中学校2年生が職場体験を通じ地域に学び、ともに生きる心や感謝の心を育み、自立性を高めるなど、「生きる力」の育成を図ります。

○予算額 125万円（150万円）

○担当課 教育委員会 こども教育課



トライやる・ウィーク

#### (5) 新温泉町青少年健全育成推進事業

学校と家庭・地域が連携し、青少年の異年齢交流、異世代交流活動を実施し、思いやりのある心豊かな創造性や積極的な社会参加の意欲を培います。また、地域において子どもが安心・安全に過ごせる環境づくりに努めます。

○予算額 166万9千円（166万1千円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課

#### (6) 新温泉町ふるさとの成人式

新温泉町に生まれ育ち、二十歳の成人式を迎える力を生き抜いていこうとする新成人を町を挙げて祝福する機会として開催します。

○開催日 平成26年1月12日（日）

○場 所 新温泉町夢ホール

○予算額 97万1千円（102万円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課



成人式

#### (7) 青少年育成指定コミュニティスポーツ事業

豊かな可能性を秘めた青少年の健全育成を図るために、家庭・学校・地域・行政が連携し、地域におけるスポーツを通じた青少年活動の活性化及び青少年と地域とのふれあいを深める機会として実施します。

○内 容 ビーチサッカー教室・大会

○開催日 平成25年8月31日(土)、9月1日(日)

○予算額 199万9千円（178万4千円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課

### 3 生きがい・楽しみ・誇りづくり

#### (1) 公民館講座開設

○内 容 ・浜坂公民館

女性教養講座、男子調理、グラスアート、いろいろ小物づくり教室

(児童向け講座 金管バンド、自然体験学習)

- ・温泉公民館  
絵画、書道、立体ちぎり絵、健康料理教室  
(児童向け講座 コーラス)  
(短期講座 パソコン教室)
- 予算額 157万6千円（137万9千円）  
○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

## （2）埋蔵文化財発掘調査事業 ※新規事業

開発事業の事業予定地内における埋蔵文化財の有無、性格・規模等を把握するため、事前の発掘調査（確認調査）を実施します。

- 内 容 ・大庭地区県営ほ場整備事業に伴う調査  
・二日市配水池新設事業に伴う調査
- 予算額 861万円（-）  
○担当課 教育委員会 生涯教育課

## （3）麒麟獅子舞記録調査事業 ※新規事業

『但馬の麒麟獅子舞』として「国の記録選択」に選択されている町内9地区に伝承の『麒麟獅子舞』について、由来・形態・特徴等を3か年計画で調査し、後世への伝承資料として活用します。

- 予算額 17万9千円（-）  
○担当課 教育委員会 生涯教育課



麒麟獅子舞

## （4）移動図書館運営事業

但馬で唯一の移動図書館業務を一年を通して安全かつ効率的に行い、幅広い地域でより多くの町民の方々へ図書資料を提供します。

- 内 容 浜坂地域、温泉地域とも  
4コース 30ステーションを巡回

- 予算額 43万8千円（21万1千円）  
○担当課 加藤文太郎記念図書館

## （5）図書館図書整備事業

住民の多様なニーズに応えるため、幅広く新鮮な資料を豊富に収集し、きめ細やかなサービスの提供に努め、気軽に利用できる図書館づくりを進めます。また、当館の特色である「山岳」や「郷土」に関する資料の収集及び寄贈図書の整備にも努め、蔵書の充実を図ります。

- 予算額 502万9千円（529万4千円）  
○担当課 加藤文太郎記念図書館



加藤文太郎記念図書館

## （6）「前田純孝」顕彰事業

郷土の先人「前田純孝」を顕彰するとともに、若い人たちに短歌に関心を持っていただきため、第19回「前田純孝賞」学生短歌コンクールを開催します。

- 予算額 63万8千円（63万8千円）  
○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

## （7）「宇野雪村」顕彰事業

郷土の先人「宇野雪村」を顕彰するとともに、書道文化の普及を図るため、第14回「宇野雪村賞」全国書道展を開催します。また、共催事業として町内の小中学生を対象とした第11回「新温泉町小中学生書作品展」を開催します。

- 予算額 211万7千円（204万2千円）  
○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

## (8) 「新温泉町ジオパークフォトコンテスト」事業

町民が自分達の住んでいる「新温泉町」の素晴らしさを再発見する機会として、新温泉町の風景・行事等を題材とした写真作品を「新温泉町ジオパークフォトコンテスト」として広く募集し、その優秀作品を表彰するとともに、第9回「新温泉町の四季わが町再発見写真展」として展示します。

○予算額 12万円（12万円）

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

## (9) 第26回新温泉町麒麟獅子マラソン大会

本町の伝統文化である麒麟獅子をタイトルとした歴史あるマラソン大会を開催し、町民の体力増進・健脚を競うとともに町外からの大勢の参加をいただくことで、町に活力と観光振興を与え、経済効果を図ります。併せて町の観光PR、地元の情報発信で都市との交流の場とします。

○開催日 平成25年5月26日（日）

○予算額 170万円（170万円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課



麒麟獅子マラソン大会

## (10) ビーチフェスタ（ビーチバレー大会）

新温泉町誕生の記念事業としてスタートした事業であり、さらに町が推進する山陰海岸ジオパーク構想実現への気運の醸成を図るため、山陰海岸国立公園である浜坂県民サンビーチで開催します。海の素晴らしさを体感しながら、ビーチスポーツを通じて健康づくりを実践いただける新たな交流の場としての定着をめざします。

○開催日 平成25年8月4日（日）

○予算額 60万円（60万円）

○担当課 教育委員会 生涯教育課



ビーチフェスタ

## (11) 夢ホール事業

芸術文化の発信拠点、町民の交流の場として、感動を共有できる事業を実施します。25年度は、クラシックパーク（訪問プログラム&コンサート）を開催します。

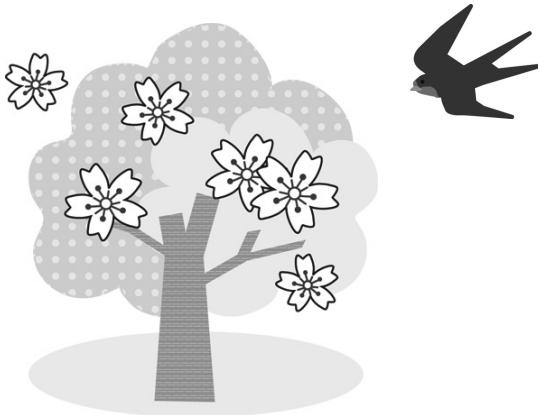
○内 容 クラシックパーク、人形劇、映画鑑賞会など

○予算額 213万9千円（227万2千円）

○担当課 温泉公民館



コンテンポラリーダンス



# 豊かな地域産業づくり

## ・活力・

第1次、第2次、第3次産業間の連携、一体化により、産業構造の強化を図ります。さらに、伝統産業技術の後継者育成の支援や企業誘致を進め、雇用の安定、創出に努めます。あわせて、各産業の後継者確保や担い手の育成、若者の定住促進を目指し、雇用対策の充実、都市部の団塊の世代をはじめとしたUJIターンの受け入れ態勢の拡充を図ります。

また、海と山と温泉などのツーリズム資源を融合させ、多彩なスタイルによる交流を創造するとともに、交流型観光を推進します。さらに、近年の観光客のニーズに対応するとともに、住民一人ひとりがわが町に誇りを持っておもてなしをすることで、地域にさらに魅力をもたせていきます。

### 1 産業間の連携と人材を育成するまちづくり

#### (1) 新温泉町定住促進住宅取得助成金

過疎化による人口減少を抑制し、町内の若者の定住促進及び本町へのU・J・Iターンの住宅支援を図るため、町内で新たに住宅を購入する、又は増改築を行う費用の一部を助成します。定住人口の確保に併せて、町内の住宅関連産業の進行を図ります。

- 内 容
  - ・対象年齢：満45歳未満
  - ・対象金額：新築及び購入 1,000万円超 改修 50万円超
  - ・助成金額：新築及び購入 上限 50万円 改修 上限 25万円

○予算額 600万円（600万円）

○担当課 商工観光課

#### (2) 新温泉町若者再就職促進奨励金

景気回復の兆しが見えない経済状況の中、再就職が極めて困難な状況にあり、長期間就業できない若年失業者に対する緊急経済措置として支援します。

○予算額 50万円（100万円）

○担当課 商工観光課

#### (3) 企業立地促進奨励金

企業誘致の促進と既存企業の育成を図るために、町内に新設・増設を行う事業所に対し、奨励金を交付し、産業振興と雇用拡大につなげます。

○予算額 1,661万5千円（200万1千円）

○担当課 商工観光課

### 2 自然活用型産業を振興するまちづくり

#### (1) 新規就農総合支援事業

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）について、所得を確保するための給付金を支給します。

○対 象 原則45歳未満 年間150万円給付

○予算額 302万5千円（782万8千円）

○担当課 農林水産課



#### (2) 中山間地域等直接支払事業（第3期：H22～H26）

担い手育成による、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄発生を防止し、農地の多面的機能の保全を図ります。中山間地域と平地地域との生産条件の不利を補正します。

○予算額 9,738万1千円（9,741万8千円）

○担当課 農林水産課

#### (3) 経営所得安定対策直接支払推進事業

経営所得安定対策は、食料自給率の向上を図ると

ともに、農業と地域を再生させ、農山漁村に暮らす人々が将来に向けて明るい展望を持って生きていく環境を作り上げていくための施策であると同時に、環境の保全や美しい景観などの農業・農村の多面的機能を我が国の資産として維持していくためのものです。

#### ①経営所得安定対策直接支払推進事業

システム運営など制度運営に必要な経費を措置するとともに、生産数量目標の設定、作付面積等を行う経費を助成します。

#### ・新温泉町地域農業再生協議会

#### ②人・農地問題解決推進事業

平地で 20 ~ 30ha の土地利用型農業をめざすため、集落での話し合いに基づき地域の中心となる経営体を人・農地プランに定めるとともに、その経営体への農地の集積を促進します。

○予算額 723万7千円 (723万7千円)

○担当課 農林水産課

### (4) 畜産振興（優良牛確保）事業

全国和牛の改良用素牛供給地としての役割を十分認識し、良質の但馬牛生産の安定化を図り、育種基地として優良牛の確保に努めます。

○内 容  
・あっせん会 2頭、市導入・自家保留 50頭 計 52頭  
・波系加算 1頭

○予算額 375万円 (395万円)

○担当課 農林水産課



子牛共進会

### (5) 農業体质強化基盤整備促進事業

23年度に国の4次補正に創設された事業で、25

年度も継続して農地、農業用水利施設の整備をきめ細かく実施し、経営規模の拡大や戦略作物、地域振興作物の生産を促進します。

○予算額 914万4千円 (4,198万3千円)

○担当課 農林水産課



### (6) 県営大庭地区ほ場整備事業 ※新規事業

農業経営の効率的かつ安定的な経営体を育成し、優良農地の維持確保を図るために、農作業の効率化や農業生産の選択的拡大に向けて必要となる農業生産基盤の整備を県営事業により実施します。

○実施地区 大庭地区 (23.0ha)

○予算額 471万円 (-)

○担当課 農林水産課

### (7) 県営農村災害対策整備事業

奥八田地区は、4集落の上部を流れる全長 3,500mの石橋用排水路 (B = 1.2 m \* H = 0.6 mの土水路・受益面積 20ha) があり、近年、施設の脆弱化等に伴って、決壊や越水を招いており、周辺農用地や民家等に被害を与えるおそれがあります。

本地区を対象として、農業用排水施設及び農災施設整備事業を県営事業により実施します。

○対 象 奥八田地区

○予算額 1,232万円 (480万円)

○担当課 農林水産課

### (8) 中山間地域総合整備事業

農業生産条件が不利な中山間地域の事情を踏まえ、それぞれの立地条件に即した農業生産基盤の整備を総合的に行い、農業と農村の活性化を図るとともに、定住化を促進し、国土・環境の保全に資するため、農業用排水、農道、ほ場、防災安全施設等、農村施設の一体的な整備を行います。

○対 象 浜坂地域

○予算額 3,870万6千円 (5,066万4千円)

○担当課 農林水産課

## (9) 森林管理 100%作戦推進事業（第3期：H24～）

町内の森林の公益的機能を維持し、多面的機能を高度発揮させるために間伐が必要な人工林について公的関与の充実により、間伐及び作業道開設を支援し、森林管理の徹底を図ります。

- 対象 斎木・ヒノキの人工林、材齢26～60年生

○予算額 851万1千円（543万2千円）

○担当課 農林水産課

## (10) 水産振興事業

漁業を取り巻く厳しい状況を開拓するため、漁業者への支援事業を行うとともに水産物の流通販売の活性化に取り組みます。

### ①漁獲共済加入推進事業

厳しく変動する漁業情勢の中で中小漁業者の漁業再生産の阻害の防止と経営の安定化を図るため、漁業災害法に基づき、異常な事態又は不慮の事故が発生し、生産物や漁具等に損失が生じた場合に、その損失を補償する制度で漁業経営の安定を図ります。

- ・対象件数 計39経営体

### ②漁貝類等増殖事業

水産資源の維持及び増大並びに持続的利用と水産物の安定的な供給を図ります。

- ・アワビ等稚貝購入、ヒラメ・マダイ中間育成後放流

### ③水産等活性化事業（地域水産物販売）

- ・ホタルイカ等PR販売、松葉ガニ（ズワイガニ）タグ製作

### ④漁船建造資金利子補給事業

漁船建造若しくは購入した漁業者に対して、5年以内の利子補給を行います。

- ・隻対象漁船 1隻

### ⑤外国人研修生受入事業

- ・浜坂・諸寄研修施設増築整備

○予算額 448万1千円（438万7千円）

○担当課 農林水産課

## (11) 海岸環境保全事業

海岸環境の景観保持、美化保全を図るため、海岸の美化清掃を行います。25年度は、ビーチクリー

ナーを購入します。

○予算額 1,700万円（200万円）

○担当課 農林水産課

## (12) 漁港整備事業

県営漁港内の航行の安全及び漁業活動の省力化と安全を図るために、漁港施設の整備を行います。

○内容 漁港航路浚渫（浜坂・諸寄）一式

○予算額 100万円（315万1千円）

○担当課 農林水産課

## 3 交流型産業を振興するまちづくり

### (1) 観光キャンペーン事業

観光PRのため、新たに観光ポスターを製作します。各団体が開催するキャンペーン活動に積極的に参加するとともに、東京で開催される町イチ！村イチ！2013に出展するほか、町主催で阪神間でのキャラバンを実施します。

○予算額 449万3千円（397万5千円）

○担当課 商工観光課

### (2) 観光PRバス運行事業

24年度にラッピングを行った全但バスと町マイクロバスを継続して運行し、町の観光PRを行うことにより阪神間等からの集客増を図ります。

○予算額 75万6千円（318万1千円）

○担当課 商工観光課



ラッピングバス



### (3) 観光協会補助金

観光産業の振興のため、浜坂・湯村温泉両観光協会に補助金を交付します。観光の一体化をめざすため、観光振興協議会の活動を推進します。また、各種イベント（カニ祭り・ほたるいか祭り・ゆむら灯火の景・おもしろ夢体験等）を支援します。

○予算額 1,930万1千円（1,930万1千円）

○担当課 商工観光課

### (4) 兵庫県立但馬牧場公園管理運営事業

但馬牛の振興とPRを図りながら、動物や自然とのふれあいを通じて安らぎや憩いを提供し、四季を通じて町内外住民の交流を活性化する施設の運営を行います。

○予算額 8,407万7千円（7,713万3千円）

○担当課 牧場公園課



兵庫県立但馬牧場公園

## 4 商工業を活性化するまちづくり

### (1) 新温泉町地域資源活用促進事業補助金

第1次産業の活性化と「6次産業化」を図るため、農産物や水産物の加工を促進し、地域の特色ある資源を活かしたまちおこしに取り組む団体を支援します。

○予算額 200万円（300万円）

○担当課 商工観光課

### (2) 新温泉町住宅リフォーム助成金 ※新規事業

住宅リフォームを行った場合に費用の一部を助成します。住宅工事の需要を喚起することで、地域経

済の活性化を図ります。

○内 容 ・助成金額 住宅リフォーム費用の  
1/10（上限10万円）

・条 件 町内に本店等を有する業者を利用しての施工

○予算額 500万円（-）

○担当課 商工観光課

### (3) 新温泉町中小企業融資利子補給金 ※新規事業

長期不況や金融情勢の変化による中小企業の負担を軽減するため、町融資等の借り入れに伴う利子について、一部を助成します。

○予算額 224万9千円（-）

○担当課 商工観光課

### (4) 町内中小企業対策事業

#### ①中小企業振興資金融資預託金

町内中小企業の資金確保の円滑化のため、預託を実施します。

#### ②中小企業震災対策特別利子補給金

東日本大震災以降、国内不況の影響を受けて業績が悪化した中小企業に対し、経営の安定を図るために、利子補給を行います。

○予算額 1億4万6千円（1億32万4千円）

○担当課 商工観光課

### (5) 商工会補助金

商工業の振興のため、新温泉町商工会に補助金を交付します。

○予算額 1,470万5千円（1,422万6千円）

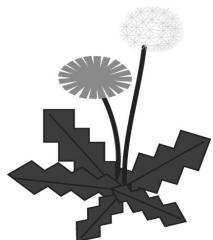
○担当課 商工観光課

### (6) プレミアム商品券発行事業

新温泉町商工会が行うプレミアム商品券発行事業に係る補助について、25年度も引き続き行います。

○予算額 170万円（170万円）

○担当課 商工観光課



# 住みたくなる環境づくり

## ・快適・生活環境・

本町は、上山高原をはじめとした森林、河川沿いの谷筋に広がる田園、港町や旧街道沿いの町並み、海辺の空間など、町の魅力の基本となる多様な景観を有しています。こうした景観を基盤に、良好で快適な生活環境を維持し、高めることに努めます。

また、浜坂中心市街地の活性化と秩序ある土地利用を進めます。

### 1 自然を守り育てるまちづくり

#### (1) 農地・水・保全管理支払交付金事業

##### ①共同活動支援交付金

農地や農業用水、ため池といった農業・農村資源を、食料の安定供給、多面的機能の発揮に不可欠な「社会共通資本」と位置付けて、地域ぐるみの保全活動を実施するため、集落を単位に農村保全活動組織を発足し、活動計画等について町と協定を結び、その実践活動に助成します。

##### ②向上活動支援交付金

集落を農地・農業用排水等の資源の保全管理活動を行う主体と位置付け、水路、農道路肩、ため池の補修や、農道舗装の更新等、施設の長寿命化のための活動を支援します。

○予算額 1,119万2千円（1,145万円）

○担当課 農林水産課

#### (2) 環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、当該営農活動の実施に伴う追加的なコストを支援します。

○対象 エコファーマー認定者

○予算額 94万3千円（95万2千円）

○担当課 農林水産課

#### (3) 緊急防災林整備事業（県民縁税活用）

急傾斜、斜面形状等で山地災害防止機能の高度発揮が求められる概ね45年生以下のスギ・ヒノキ材を対象に、間伐木を利用した土留工の設置などの森林整備を実施します。環境対策育林実施箇所内を実施します。

○内 容 簡易土留工60ha、森林整備作業歩道100m、看板設置1基

○予算額 1,084万3千円（1,930万5千円）

○担当課 農林水産課

#### (4) 有害鳥獣防除事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除・軽減し、捕獲により加害獣を適正頭数まで減らすため、兵庫県猟友会浜坂支部会員により編成される有害鳥獣捕獲班に対し、捕獲を委託します。また、有害獣捕獲檻導入、捕獲班員の確保対策を実施します。

○内 容 • 有害鳥獣捕獲事業（事業委託）

銃器、わな、捕獲柵による捕獲

• 有害獣捕獲檻導入事業

小動物用檻購入、イノシシ・シカ等檻購入補助

• 有害鳥獣捕獲班確保対策事業

射撃訓練、研修参加費

• 新規免許取得者確保対策事業

わな猟免許、第1種猟銃免許及び銃所持許可取得に係る研修、狩猟講習会、免許試験受験料等の助成

○予算額 663万8千円（479万6千円）

○担当課 農林水産課

#### (5) 地籍調査事業

公共事業の円滑な事業推進、災害復旧時の円滑な作業対応、住民間や官民間の境界に関する問題の解消、土地取引の円滑化、課税の適正化を図るため、国土調査法に基づく地籍調査事業を実施します。

○地 区 諸寄、千原、竹田地区（県営林道池ノ尾線沿線等）

○予算額 2,378万3千円（2,452万8千円）  
○担当課 農林水産課

#### （6）上山高原エコミュージアムの推進

上山高原ふるさと館の運営及びエコ体験プログラム事業を推進します。

○予算額 271万6千円（271万3千円）  
○担当課 商工観光課

#### （7）山陰海岸国立公園指定50周年記念事業

##### ※新規事業

平成25年7月に山陰海岸が国立公園に指定されて50周年を迎えるため、エリア全体で記念事業を実施します。本町においては町民参加によるウォーキング大会や白砂青松の松林を活用した事業を実施します。

○予算額 33万円（－）  
○担当課 商工観光課

#### （8）自然公園維持管理

自然景観を保全するため、国立公園や国定公園、県民サンビーチ等の清掃、施設管理等を行います。また、城山園地のベンチ等を改修し、日本海を快適に散策し眺望できる公園づくりを進めます。

○予算額 399万円（383万2千円）  
○担当課 商工観光課

## 2 快適な生活ができるまちづくり

#### （1）情報化推進事業

高度情報通信社会に対応した情報基盤整備計画と情報通信技術・システムの利活用について検討を深め、住民の安心・安全を確立するための情報化を進めます。

○内 容 ・情報化推進委員会  
・ICT講演会

○予算額 35万9千円（37万2千円）  
○担当課 企画課

#### （2）JR山陰本線・播但線輸送改善事業

沿線地域の鉄道利便性向上のため、兵庫県及び関

係市町村の広域連携（補助金）による対象線区の整備改良を実施し、速達化等の輸送改善を図ります。

○予算額 440万9千円（951万5千円）  
○担当課 企画課

#### （3）公共交通利用促進事業「新温泉町ふれあいサロン」

浜坂駅構内的一角に鉄道グッズを展示する鉄道グッズ館「鉄子の部屋」を設置し、足湯とともに駅前の賑わいを創出します。

○予算額 99万2千円（86万7千円）  
○担当課 企画課

#### （4）町民バス・町民タクシー運行事業

公共交通として、地域住民の生活に必要となる最低限度の移動手段を維持・確保するため、町全域に町民バスを運行します。また、公共交通機関が運行されていない地域の日常生活を支援するため、町民タクシーを運行します。

○予算額 1億2,613万円（1億2,887万7千円）  
○担当課 企画課

#### （5）CATV機器更新事業

温泉地域の防災・情報提供・行政放送等の要となるCATVサービスについて、安心で安全なサービス提供を行うため、23年度から3か年計画で機器の更新を行います。（最終年度）

○予算額 2,087万3千円（4,788万円）  
○担当課 温泉総合支所 地域振興課

#### （6）汚水処理施設共同整備事業

生活排水の浄化対策として稼働している農業集落排水施設・漁業集落排水施設・コミュニティプラント施設・合併処理浄化槽から排出される汚泥や個別の生し尿については、現在、美西浄化センターで処理していますが、効率的な汚水・汚泥・し尿処理をするため、24年度に引き続き「共同汚水処理施設」の整備を行います。

○予算額 7,193万8千円（1億4,729万9千円）  
○担当課 上下水道課

## (7) 中心市街地活性化推進事業（社会資本整備総合交付金）【H 21～H 25】

浜坂中心市街地における歴史的景観特性を活かした魅力ある拠点整備と観光資源の連携強化による集客力向上及び市街地の活性化を図るとともに、町道浜坂地堂線消雪工整備などの都市基盤整備を行い、若年者から高齢者まで全ての町民が安心して暮らせるまちの実現をめざすため、社会資本整備総合交付金事業を実施します。

### ○内 容（本事業）

- ・町道浜坂地堂線消雪工整備
- ・町道浜岡芦屋線消雪工整備
- ・味原小径舗装修繕工事

### （調査）

- ・町道浜坂地堂線測量業務
- ・町道浜岡芦屋線測量業務

○予算額 947万9千円（8,080万円）

○担当課 建設課

を拠出します。

○予算額 1億5,104万9千円（9,150万5千円）

○担当課 町民課

## (4) 資源ごみ集団回収運動奨励事業

ごみの減量化・資源化を進めるため、区及び各種団体等が行う資源ごみ集団回収運動に対し、奨励金を交付します。

○予算額 233万9千円（218万2千円）

○担当課 町民課



## (5) ごみ減量化実践行動計画の推進

一般廃棄物処理基本計画の改訂に伴い策定しました、ごみ減量化実践行動計画に基づき、町民の皆様の協力をいただきながら、更なるごみの減量化を進めます。

○予算額 788万8千円（276万2千円）

○担当課 町民課

## (6) 廃棄物処理施設関連実施計画策定事業

### ※新規事業

町内の一般廃棄物処理施設の廃止、撤去や施設整備の事業内容、年次計画等について、詳細計画を策定し、計画的な廃棄物処理対策を行います。

○予算額 452万円（－）

○担当課 町民課

## (7) 温泉バイナリー発電施設整備事業 ※新規事業

再生可能エネルギーを活用した環境にやさしく災害に強い自立したまちづくりをめざし、湯村温泉の温泉を利用したバイナリー発電施設や冷却施設、蓄電池施設を整備します。

○予算額 8,300万円（－）

○担当課 商工観光課

# 3 地球環境に優しいまちづくり

## (1) エコ・コンパクトタウン推進事業

自然の恵みを活かした環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、地産地消による地域の活性化をめざし、再生可能エネルギーを活用したまちづくり（エコ・コンパクトタウン）を進めます。

### ○内 容

- ・再生可能エネルギー導入促進事業補助
- ・エコ・コンパクトタウン推進協議会

○予算額 657万円（312万5千円）

○担当課 企画課

## (2) 不法投棄ごみの監視

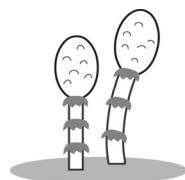
美しい自然や町の景観を守るため、ごみのない町をめざし、電化製品や廃タイヤ、ポイ捨てごみなどの不法投棄がないよう監視します。

○予算額 287万4千円（381万2千円）

○担当課 温泉総合支所 地域振興課

## (3) 北但行政事務組合負担金

循環型社会形成を推進するため、北但行政事務組合が建設する北但ごみ処理施設の整備に係る負担金



# 行財政改革への取組

厳しい財政状況下において、社会経済情勢の変化に伴い多様化する住民ニーズなど新たな行政需要に対応していくためには、合併効果を生かした行政のスリム化、効率化に加え、「住民が主人公」を基本とした、“最少の経費で最大の効果を生む効率的な事業の執行”と“住民から信頼される行財政運営”を更に進める必要があります。

このため、平成22年度から5年間の行財政改革の指針となる第2次行財政改革大綱及び同実施計画に基づき、「住民の参画と協働」を基本姿勢として行財政改革に積極的に取り組んでいきます。

## ●行財政改革への取組による計画効果額

**約3億900万円（平成22年度～26年度の5年間）**

### 【内訳】

項 目	平成26年度までの計画効果額	
	うち平成25年度 計画効果額	
<b>1 住民の参画と協働の推進</b>		
1-(1) 行政への住民参画の促進		
1-(2) 住民との協働によるまちづくりの推進		
1-(3) ボランティア活動への支援		
1-(4) 自治基本条例の制定と啓発		
1-(5) 公正の確保と透明性の向上		
1-(6) 人権尊重と男女共同参画社会の推進		
<b>2 財政健全化の推進</b>		
2-(1) 経費の削減と財政の健全化		
2-(2) 行政評価を活用した予算編成		
2-(3) 自主財源の確保	1億2,417万円	2,161万円
2-(4) 使用料・手数料の適正化		
2-(5) 公営企業等の経営健全化		
<b>3 効率的で質の高い行政運営の推進</b>		
3-(1) 事務事業の見直しと行政評価制度の充実		
3-(2) 民間委託・指定管理者制度等の推進		
3-(3) 補助金等の点検・見直し		
3-(4) 組織・機構の見直し	1億8,424万円	4,868万円
3-(5) 定員管理と給与等の適正化		
3-(6) 人材育成の推進		
3-(7) 第3セクターの経営評価		
<b>4 行政サービスの向上と新時代の行政の推進</b>		
4-(1) 住民の視点に立った行政の運営		
4-(2) 行政手続きの簡素化と住民の利便性の向上		
4-(3) 電子自治体の推進	89万円	18万円
4-(4) よりよい子育て・子どもの育つ環境づくり		
<b>合 計</b>	<b>3億930万円</b>	<b>7,047万円</b>

※計画効果額・・・第2次行財政改革実施計画における計画効果額

# まちの台所事情

## 1 普通会計予算の推移

### (平成 24 年度、25 年度の当初予算比較)

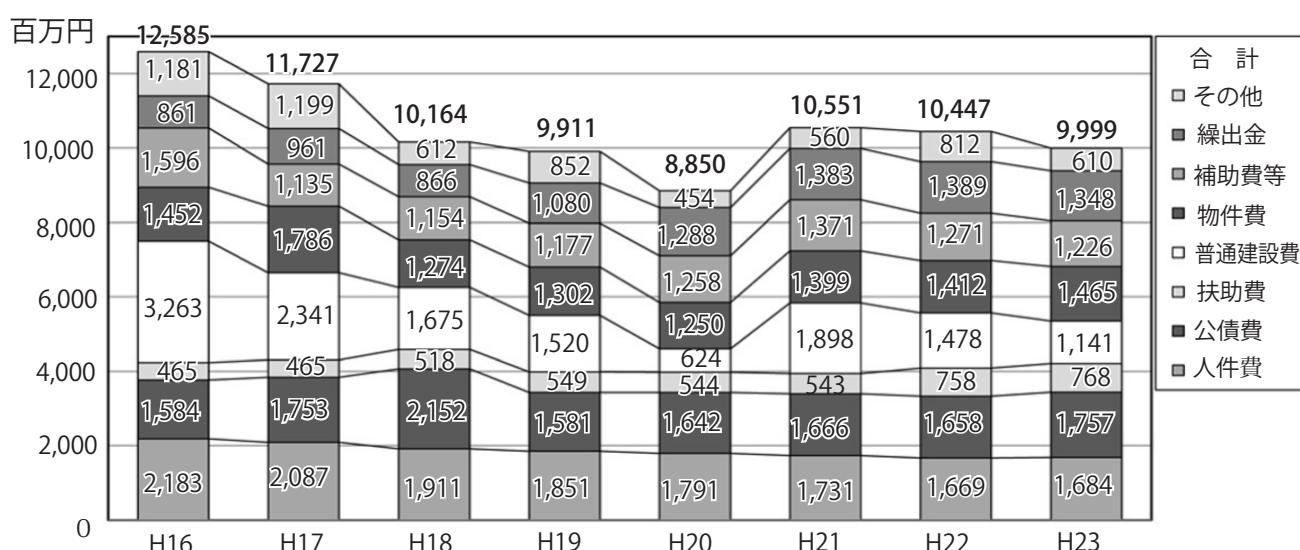
※「普通会計」とは、総務省の定める会計区分の一つです。一般会計、特別会計など各会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分をいいます。本町では、具体的に一般会計、残土処分場事業特別会計（浜坂・温泉）、コミュニティ・プラント事業特別会計をいいます。

【歳入】	分担金及び負担金 1億円 (1.0%)		使用料及び手数料 3億2千万円 (3.2%)		地方譲与税等交付金 3億円 (3.0%)		国庫支出金 6億6千万円 (6.6%)		県支出金 7億円 (7.0%)		町債 11億6千万円 (11.5%)		その他 1千万円 (0.1%)	
	平成 24 年度 歳入総額 100 億 8 千万円	町税 14 億 3 千万円 (14.1%)	諸収入 3 億 6 千万円 (3.5%)	繰入金 2 億 2 千万円 (2.2%)	地方交付税 48 億 2 千万円 (47.8%)									
平成 25 年度 歳入総額 98 億 4 千万円	町税 14 億円 (14.3%)	諸収入 3 儑 7 千万円 (3.7%)	繰入金 2 億 3 千万円 (2.3%)	地方交付税 48 億 2 千万円 (49%)							町債 11 億 2 千万円 (11.4%)	その他 2 千万円 (0.2%)		
	分担金及び負担金 7 千万円 (0.8%)	使用料及び手数料 3 億 1 千万円 (3.2%)			地方譲与税等交付金 2 億 9 千万円 (2.9%)	国庫支出金 6 億 6 千万円 (6.7%)		県支出金 6 億 6 千万円 (6.7%)			国庫支出金 5 億 5 千万円 (5.5%)			

## 【歳出】

平成 24 年度 歳出総額 100 億 8 千万円	扶助費 7 億 1 千万円 (7.0%)						その他 3 億 2 千万円 (3.3%)					
	人件費 18 億円 (17.9%)	公債費 17 億 5 千万円 (17.3%)	普通建設事業費 12 億 1 千万円 (12.0%)	物件費 16 億 9 千万円 (16.7%)	補助費等 15 億 5 千万円 (15.4%)	繰出金 10 億 5 千万円 (10.4%)						
平成 25 年度 歳出総額 98 億 4 千万円	人件費 17 億 4 千万円 (17.7%)	公債費 17 億円 (17.3%)	普通建設事業費 10 億 7 千万円 (10.9%)	物件費 17 億 2 千万円 (17.5%)	補助費等 15 億 3 千万円 (15.5%)	繰出金 10 億 5 千万円 (10.7%)						
			扶助費 7 億 3 千万円 (7.4%)									その他 3 億円 (3.0%)

### 普通会計歳出決算（性質別）推移



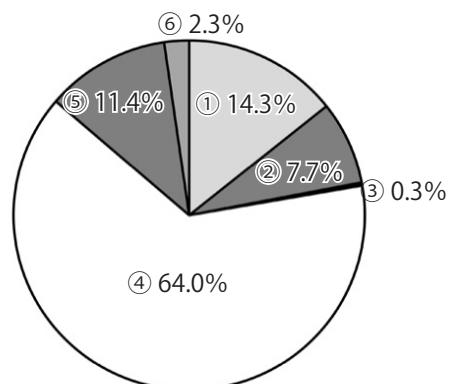
※端数処理により合計と内訳が一致しない場合があります。

## 2 町の予算を家計に例えてみると…

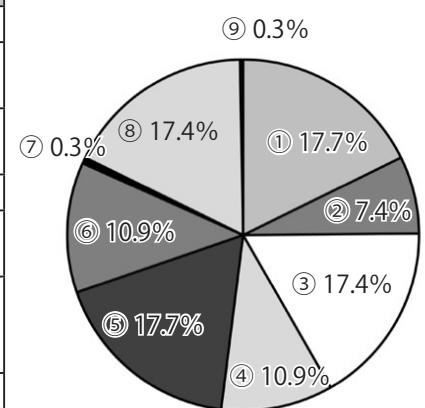
平成 25 年度の新温泉町の普通会計予算 98 億 4 千万円を、年収 420 万円（月収 35 万円）の家計に例えてみると・・・

【○○家族】 サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、子ども 2 人

収 入	家計（1か月）	町予算（年間予算）
① 給料（町税）	50,000 円	14 億円
② パート収入 (使用料・手数料等)	27,000 円	7 億 5,000 万円
③ 財産の運用・売却益 (財産収入)	1,000 円	2,000 万円
④ 親からの援助など (地方交付税、国・県支出金等)	224,000 円	63 億 2,000 万円
⑤ 借金（車・住宅ローン） (町債)	40,000 円	11 億 2,000 万円
⑥ 賀金の取り崩し（繰入金）	8,000 円	2 億 3,000 万円
合 計	350,000 円	98 億 4,000 万円



支 出	家計（1か月）	町予算（年間予算）
① 食費（人件費）	62,000 円	17 億 4,000 万円
② 医療費・教育費・保育料等 (扶助費)	26,000 円	7 億 3,000 万円
③ 光熱水費・電話代・生活用品等 (物件費)	61,000 円	17 億 2,000 万円
④ 子どもへの仕送り（繰出金）	38,000 円	10 億 5,000 万円
⑤ サークル等の会費・知人への援助 (補助費等及び出資・貸付金)	62,000 円	17 億 6,000 万円
自宅の増改築・車や電気製品 の購入等（普通建設事業費・維持補修費）	38,000 円	10 億 7,000 万円
⑦ 賀金の積立て（積立金）	1,000 円	4,000 万円
⑧ 借金の返済（ローンの支払い） (公債費)	61,000 円	17 億円
⑨ その他（予備費）	1,000 円	3,000 万円
合 計	350,000 円	98 億 4,000 万円



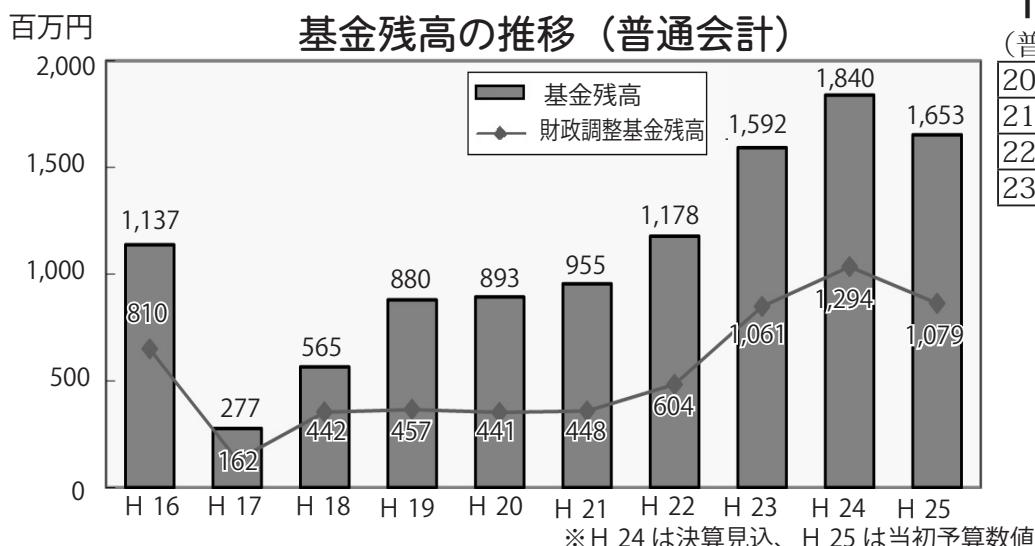
お父さんとお母さんの収入だけでは生活できず、親からの援助により生計が成り立っている状況は昨年までと変わりありません。景気の低迷などにより、昨年に比べて、給料・パート・親からの援助などの収入が減る一方で、暮らしを維持するために必要な医療費・教育費・保育料、光熱水費・電話代・生活用品等が増えるため、自宅の増改築・車や電気製品の購入費を控えるなどの節約を行い、賀金を取り崩すことで何とか生計を保っているのが今年度の家計の現状です。



### 3 貯金の状況

貯金（基金）のうち使途が限られていない財政調整基金は、平成23年度末で約10億6千万円となりました。平成24年度は経費節減等により決算剰余金が生じる見込みであり、それを積み立てた結

果、平成24年度末で約12億9千万円となる見込みです。しかしながら、平成25年度予算においては収支不足を補うために約2億1千万円を取り崩すこととなりました。



1人当たり基金残高  
(普通会計)

20年度末	5万2千円
21年度末	5万9千円
22年度末	7万1千円
23年度末	9万8千円



#### 【基金残高の状況】

(単位：千円)

基 金 名	平成23年度末 現在高	平成24年度末 現在高見込額 (A)	平成25年度		平成25年度末 現在高見込額 (A)+(B)-(C)
			積立予定額 (B)	取崩予定額 (C)	
① 財政調整基金	1,060,505	1,294,241	637	215,800	1,079,078
② 減債基金	24,759	24,759	8	0	24,767
③ 特定目的基金	ふるさと水と土対策基金	2,594	2,595	1	0
	地域福祉基金	54	54	0	0
	海岸環境美化基金	79	79	0	0
	地域振興基金	310,429	300,005	0	300,005
	十字谷残土処分場整備基金	86,131	95,223	26	10,288
	下タ山公共建設残土処分場事業基金	95,886	112,303	39,160	1 151,462
	二日市温泉配湯事業施設整備基金	3,696	1,083	1	273
	ふるさとづくり基金	315	826	501	800
	コミュニティ・プラント事業基金	7,957	8,461	4	1 8,464
	計 ①～③ (普通会計)	1,592,405	1,839,629	40,338	227,163 1,652,804
④ 土地開発基金 (現金のみ)	49,698	49,718	13	0	49,731
計 ①～④	1,642,103	1,889,347	40,351	227,163	1,702,535
⑤ 国民健康保険財政調整運用基金	169,754	119,848	70	1	119,917
⑥ 国民健康保険直営診療所基金	110	110	0	0	110
⑦ 介護保険給付費準備基金	8,029	47	13	1	59
⑧ 生活排水処理事業基金 (コミプラ除く)	67,489	60,271	1,122	15,000	46,393
⑨ 七釜温泉配湯事業施設整備積立基金	41,176	43,505	12	2,581	40,936
⑩ 浜坂簡易水道事業施設整備基金 (H25年度から水道事業会計に統合)	24,632	31,252			
合計 ①～⑩	1,953,293	2,144,380	41,568	244,746	1,909,950



## 4 借金の状況

町の借金は、平成23年度末現在で全会計合わせると約253億円（平成22年度末263億円）、町民一人当たり約154万円（同158万円）となり、普通会計の借金は約142億円（同145億円）で、町民一人当たり約87万円（同88万円）となります。

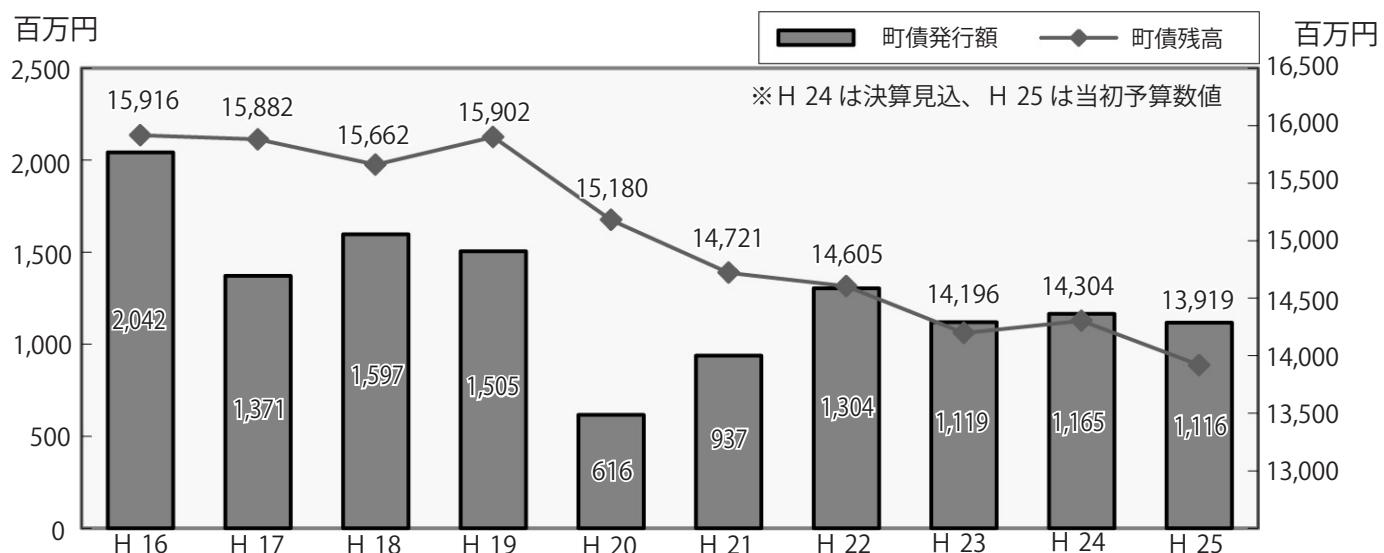
財政健全化のため、返済額を超える借り入れをしな

いことを基本とし、有利な財源である合併特例債、過疎対策事業債を活用していくなど適切な管理を行います。

### 1人当たり町債残高 (普通会計)

20年度末	88万1千円
21年度末	91万1千円
22年度末	87万5千円
23年度末	86万6千円

### 町債残高の推移 (普通会計)



### 【町債残高の状況】

(単位:千円)

区分	平成23年度末	平成24年度末見込	平成25年度末見込
一般会計	13,937,181	14,125,559	13,822,446
コミュニティ・プラント事業特別会計	259,247	178,561	96,386
①小計(普通会計)	14,196,428	14,304,120	13,918,832
国民健康保険事業特別会計	0	12,800	12,800
介護保険事業特別会計	6,100	4,066	32,932
下水道事業特別会計	7,818,774	7,332,484	6,837,803
浜坂温泉配湯事業特別会計	0	0	0
水道事業会計	1,922,045	1,996,441	1,949,708
簡易水道事業特別会計(H25年度から水道事業会計に統合)	71,500	85,652	
公立浜坂病院事業会計	1,315,008	1,244,196	1,053,734
②小計	11,133,427	10,675,639	9,886,977
① + ②合計	25,329,855	24,979,759	23,805,809

### ◆町債とは・・・

町債は、学校や道路、下水道などの多額の経費を要する建設事業を行うための借金であり、長期間町民に活用されるため、建設時の町民だけに負担してもらうのではなく、次の世代にも負担を求め、世代間でこれらの事業に対する負担の公平を図るものです。

町債を発行して事業を行いつつ、町債の中でも、償還額の一部に対して交付税が算入される有利な町債を活用していくことも大切です。ただし、財政健全化のため借金の残高を減らすことも重要です。

## 5 地方交付税・町税の状況

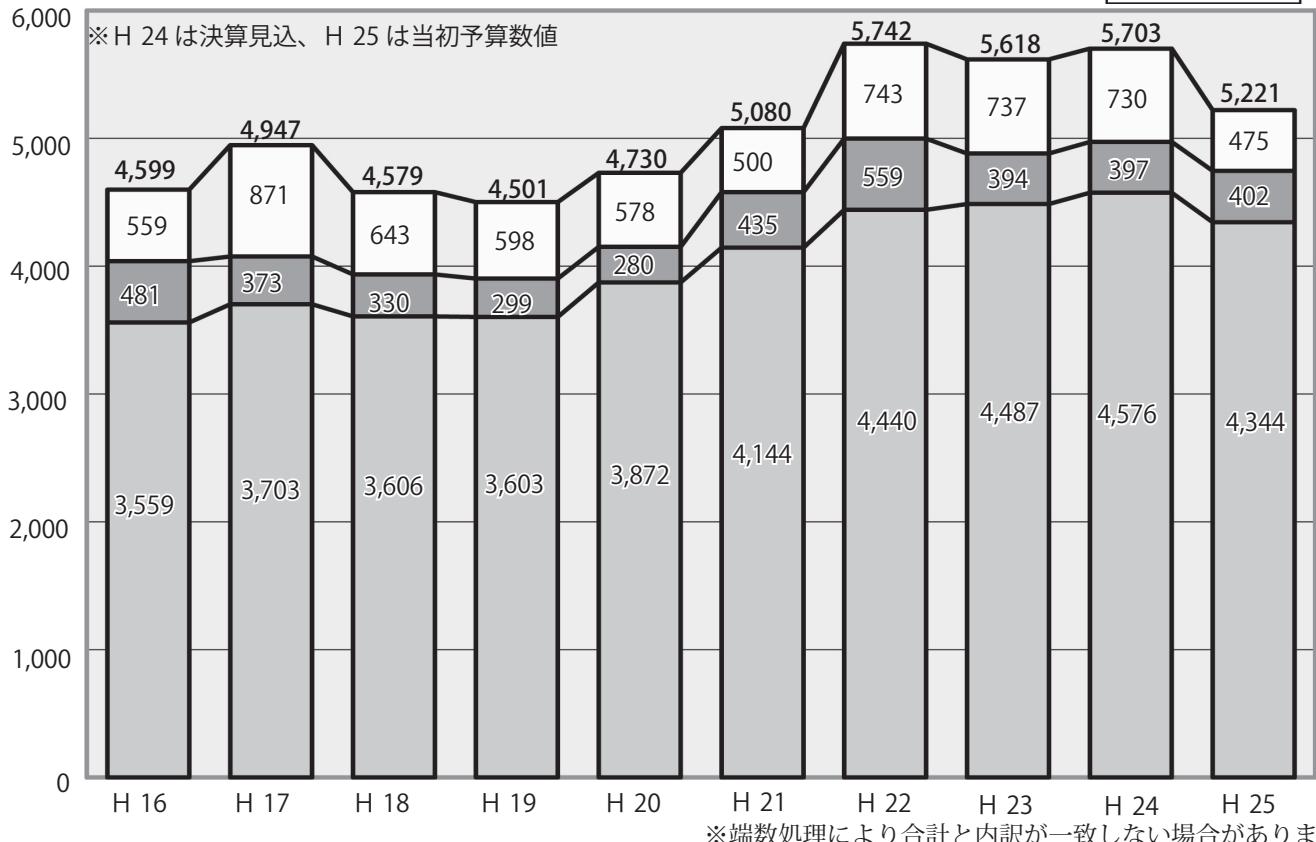
地方交付税には、普通交付税と特別交付税があります。普通交付税では「地域の元気づくり推進費」等が充実される一方で、前年度の「地域経済・雇用対策費」の廃止、地方公務員給与費臨時特例等により減額されることから、約2億3千2百万円の減額を見込みます。

町税は、平成25年度における税制改正を含め、景気の動向、過去の実績や徴収努力等を勘案した結果、約2千8百万円の減額を見込みます。

百万円

地方交付税の推移（臨時財政対策債を含む）

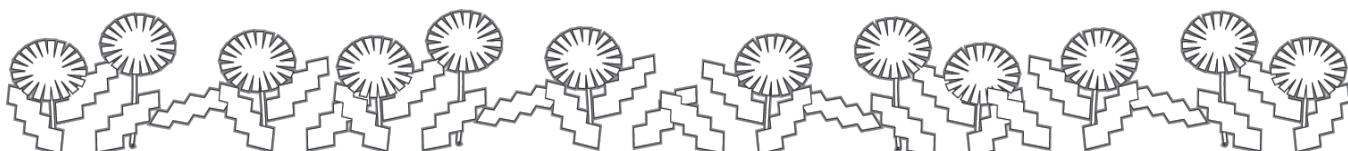
合計  
□特別交付税  
■臨時財政対策債  
□普通交付税



### 臨時財政対策債とは・・・

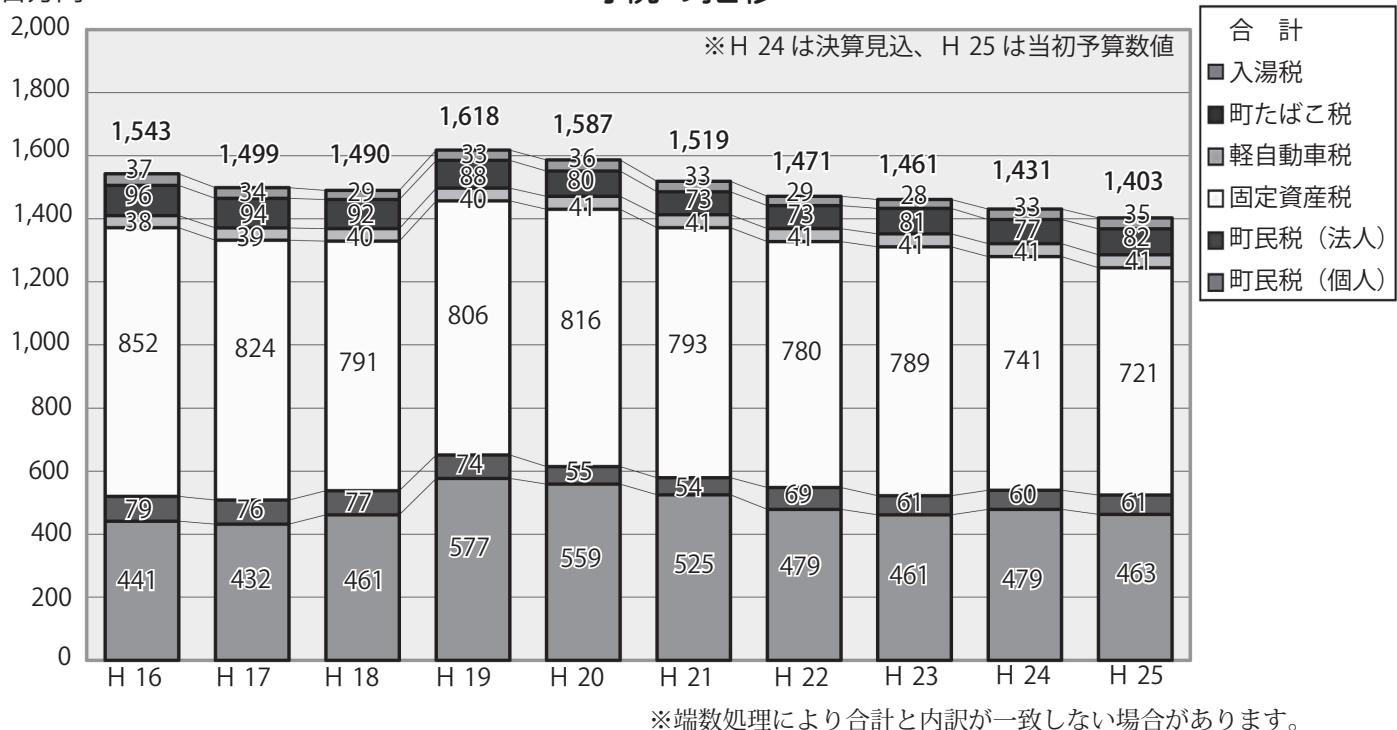
地方の財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債です。従来は、この財源不足額を補てんするため、国が地方交付税特別会計で借り入れし、地方交付税として地方自治体に配分してきました。

平成13年度から自治体自ら直接借り入れる方式に切り替えられました。これを「臨時財政対策債」といいます。



百万円

## 町税の推移



※端数処理により合計と内訳が一致しない場合があります。

## 6 財政指標の状況

項目	20年度	21年度	22年度	23年度
経常収支比率	94.1%	91.3%	86.8%	89.8%
起債制限比率	13.9%	12.4%	11.2%	10.3%
実質公債費比率	18.8%	18.9%	18.9%	18.6%
標準財政規模	61 億 6,473 万円	64 億 8,293 万円	67 億 8,430 万円	66 億 9,657 万円

### 【用語解説】

経常収支比率	人件費（食費）、扶助費（医療費等）、公債費（借金の返済）などの義務的な経常経費に、町税（給料）や地方交付税（親からの援助）などの使途が限定されない経常的収入がどれだけ充当されているかを示します。数値が高くなるほど財政の自由度、健全性が失われていることを示します。
	※例えば、10万円の収入のうち、Aさんは生活費など必ず必要な経費が9万円とすると、経常収支比率は9万円÷10万円=90%となります。Bさんは生活費など必ず必要な経費が7万円とすると、経常収支比率は70%となり、Bさんの方が自由に使えるお金が多いということになります。
起債制限比率	収入に占める借金の返済額（地方交付税で措置される額を収入・返済額から除く）の割合を示します。
	※例えば、10万円の収入のうち、借金の返済にあてるお金が1万5,000円であれば、起債制限比率は15%となります。
実質公債費比率	起債制限比率に、下水道、病院などの公営企業への繰出等（子どもへの仕送り）を加えた町全体の実質的な債務をもとに算出します。3カ年の平均値が18%以上になると起債の許可が必要となり、25%以上なら起債が制限されます。
	※一般財源とは、歳入のうち町税などのように使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる資金のことです。
標準財政規模	地方自治体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源（※）の規模を示す数値



**－平成 25 年度新温泉町予算説明書－  
「まちを知る 考える 参画する」私たちの新温泉町**

発行 新温泉町／編集 企画課

〒 669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673 番地の 1

電 話 (0796) 82-3111(代)／F A X (0796)82-3054

町ホームページ <http://www.town.shinonsen.hyogo.jp/>

